




# 大阪市 生物多様性戦略

2021-2030



生物多様性の恵みを  
感じるまち

 大阪市



# 本編 目次

## はじめに（策定の趣旨）

### 第1章 大阪市生物多様性戦略の策定にあたって

- 1 生物多様性と生態系サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 生物多様性の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 大阪市生物多様性戦略の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4 大阪市生物多様性戦略の計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 5 大阪市生物多様性戦略の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 6 大阪市生物多様性戦略の取組みの対象区域・・・・・・・・・・ 9

### 第2章 生物多様性と地域循環共生圏

- 1 地域循環共生圏とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 2 都市活動と生物多様性の関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 3 地域循環共生圏づくりに資する取組み・・・・・・・・・・ 15

### 第3章 大阪市の現況と課題

- 1 大阪市の生物多様性の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 2 都市における消費とグローバル化・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 3 直面している課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

### 第4章 目標達成に向けた取組み

- 1 基本戦略と方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- 2 具体的施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
  - 基本戦略 A 生物多様性の発見と行動の展開・・・・・・・・・・ 35
  - 基本戦略 B 自然空間の保全・創造・・・・・・・・・・・・・・ 43
  - 基本戦略 C 生物多様性に配慮した生産・消費への変革・・ 52
  - 基本戦略 D 都市・地球環境問題に対する取組み・・・・・・・・ 58

### 第5章 多様な主体による取組み及び生物多様性関連施設

- 1 事業者の取組み状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- 2 環境 NGO/NPO などの取組み状況・・・・・・・・・・・・・・ 69
- 3 多様な主体と連携、協働した取組みの推進・・・・・・・・・・ 70
- 4 大阪府下の生物多様性関連施設など・・・・・・・・・・・・・・ 72

### 第6章 大阪市生物多様性戦略の推進体制

- 1 戦略の推進にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
- 2 進捗状況の検証・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

## はじめに

私たちが暮らす地球は 46 億年前に誕生し、約 40 億年前に最初の生命が誕生して以来、生き物たちは互いに有機的に絡み合い、影響を及ぼし合いながら生態系を形づくってきました。多様な生き物のつながり（生物多様性）が私たちの社会・経済、さらには文化・教育など幅広い分野の基盤となっています。

私たちが暮らす大都市・大阪市では、都市の発展に伴い市街化が進み、身近にふれあうことができる緑や水辺空間といった自然環境は減少してきましたが、ほぼ全域が市街化された今の大阪市にも、淀川ワンド群や野鳥園臨港緑地、まちなかの社寺林など生き物の生息・生育空間となる大切な自然環境が残されています。また、近年の都市整備により、屋上緑化など新たな緑地空間が創り出されています。これらの空間は、琵琶湖や生駒山、大阪湾につながっており、さらには海を通じて世界にもつながっています。

また、私たちの暮らしは、国内のみならず、世界各地から輸入する大量の食べ物や資源などに依存しており、私たちの活動は、大阪市内や周辺地域のみならず世界の生物多様性にも影響しています。さらに、ウィズコロナ・アフターコロナ社会における生活意識・行動の変化を受け、社会の生産活動や消費活動の見直しとあわせて、近隣の公園など身近な自然に親しむ場面が増えています。

2010 年 10 月に愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）で採択された世界目標である「愛知目標」では、生物多様性の損失を食い止めるための緊急かつ効果的な行動をとることが合意され、2019 年には生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）により生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書が公表されました。2020 年には国連生物多様性条約事務局により愛知目標の達成状況や 2050 年ビジョンの達成に向けて必要な行動等がまとめられた地球規模生物多様性概況第 5 版（GBO5）において生物多様性の取組みの進捗が評価されました。一方、大阪市では、2018 年 3 月に「大阪市生物多様性戦略」を、また 2019 年 12 月には「大阪市環境基本計画」を策定し、「愛知目標」や「持続可能な開発目標（SDGs）」など世界の動きを踏まえ、生物多様性の保全に取り組んできました。また、2020 年 7 月には大阪府市で共同申請した内閣府の「SDGs 未来都市及び自治体 SDGs モデル事業」に選定されるなど、SDGs 達成に貢献する環境先進都市の実現、その先の社会の実現に向け着実に取組みを進めているところです。

地球上の至る所で発生している生物多様性劣化の問題の多くが、私たちの消費活動、経済活動と密接に関係していることがあまり認知されていないこともまた大きな問題であり、恵み豊かな生態系サービスを私たちで使い切るのではなく、持続可能なものとして世代を超えて引き継ぐためにも、一人ひとりが生物多様性の問題を認識し、これを解決する方法を考え、行動していかなければなりません。

生物多様性の保全に関する国内外の動向を踏まえ、生物多様性の保全に貢献するさまざまな活動を推進し、大阪市のめざす、2050 年の「生物多様性の恵みを感じるまち」の実現に向け、誰もが心豊かで快適な生活を送ることができる大都市・大阪市を将来につないでいくため、市民・環境 NGO/NPO・事業者・研究機関・教育機関などの皆さまと連携しながら、取組みを進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

### はしがき

この計画は、「生物多様性基本法」第 13 条に基づき策定するものです。